

広報

2019

つちうら



Tsuchiura Public Relations

No.1234

一年のはじまりの朝



新たな年のはじまりを告げる日の出。霞ヶ浦の彼方から射し込む黄金色の儼かな光は、慌しかった年末の空気を一新し、新年への希望をもたらしてくれます。一年に一度の「初日の出」に、皆さんはどんなことを誓いますか。

新しい時代の始まりに

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、明治改元から150年、平成30年という大きな節目の年でありました。全国各地で自然災害が多発し、多くの方々が被害にあわれました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

市政では、4月に市内全校で小中一貫教育を実施し、同時に本市初となる施設一体型小中一貫校「新治学園義務教育学校」を開校いたしました。

10月には、本県で23年ぶり2度目となる「第17回世界湖沼会議」が開催され、本市では、「霞ヶ浦の将来像〜泳げる霞ヶ浦」を見出すことを目的に、官民協働による全3回の「サテライトつちうら」を開催いたしました。霞ヶ浦の恩恵を未来に引き継ぐため、水質浄化は市民の皆様と一緒に取り組みなければならぬ重要な課題であると考えております。今後、霞ヶ浦導水事業の推進により、さらに促進されることを期待しております。

また、土浦駅前にオープンした図書館と市民ギャラリーの複合施設「アルカス土浦」が開館1周年を迎え、来館者は延べ65万人を達成し、中心市街地に新たな人の流れが生み出された年でもありました。



そして、本年も大きな節目を迎える年であります。4月30日をもって「平成」はその幕をおろし、5月1日からは元号が変わり、新たな時代が始まります。

これから本格的な人口減少、少子高齢化社会を迎える中、本市は、昨年スタートしました「第8次土浦市総合計画」を基に、地方創生に関する施策をより一層推進し、長期的な展望に立った持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

そのような中、本年は、亀城モール整備事業のⅠ期工事が完成するとともに、真鍋神林線・田村沖宿線延伸道路が開通いたします。また、現在取り組んでおります神立駅西口地区土地区画整理事業や学校給食センター再整備事業、市民会館耐震化および大規模改造事業につきましては、着実に進めてまいります。

3月には、土浦港周辺に、つくば霞ヶ浦りんりんロードの拠点施設となる「りんりんポート土浦」がオープンいたします。「アルカス土浦」とともに新たに整備した施設を積極的に活用していただくようソフト面の充実を図り、土浦ならではの個性と魅力を高めながら、市民の皆様との協働により活気にあふれた賑わいのあるまちを創出してまいりたいと考えております。

9月には、「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」が開催されます。本市では、水球・軟式野球・相撲・高校野球（軟式）の4競技が実施されますので、土浦らしさの光る素晴らしい大会になるよう、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

土浦市長 中川清

2019

新年のご挨拶

平成23年

ひがしにほんだいしんさい
東日本大震災からの
復興が始まる

平成24年



あさひ トンネル
朝日トンネル開通

平成24年



すいごう
水郷イルミネーション初開催

トンネルを抜けて
ショートカット！
5マス進む

平成22年



たんじょう
つちまる誕生

市のイメージキャラクター
つちまるが生まれました。

平成29年



アルカス土浦開館

平成27年



しんちょうしゃ
新庁舎が開庁

しもたかつ
下高津にあった市役所本庁舎が約
52年にわたっての役目を終え、土
浦駅前ウララビルに移転しました。

平成21年



アメリカのパロアルト市と
姉妹都市を締結

平成30年



新治学園義務教育学校開校
小中一貫教育が始まる

平成30年



りんりんスクエア土浦完成

「自転車のまち土浦」の新たな顔と
なる複合施設が土浦駅前に完成し、
駅直結型のサイクリング拠点とし
て全国的にも注目を集めました。

平成18年



つちうらし
土浦市・新治村合併

平成31年



ご
おる
GOAL

いよいよ平成も残すところあと4か月あまり。新しい時代はすぐそこです。いつもよりちょっと短いですが、平成31年も素晴らしい年でありますように！

ふかえ すごろくで振り返る へいせい つちうらし 平成の土浦史

ことし へいせいさいご とし やく あいだ
今年^{ことし}は平成最後の年^{へいせいさいご}。約30年^{やく}の間には、いろい
ろな事^{こと}がありました。すごろくをしながら、へい
せい つちうらし ふかえ
成^{せい}の土浦市^{つちうらし}を振り返ってみませんか？

がんねん
平成元年



すたあと
START

いま やく ねんまえ ねん
今^{いま}から約30年前^{やく ねんまえ}の1989年^{ねん}1
がつ にち あら じだい まく
月8日^{がつ にち}、新たな時代^{あら じだい}が幕^{まく}をあ
けました。平成^{へいせい}の始まり^{はじ}です。

平成2年



さいしよ
最初のキララまつり

しせいせこう しゅうねん けいき つち
市制施行50周年^{しせいせこう}を契機^{しゅうねん}に、土
浦^{つち}七夕まつり^{うらなばた}と霞ヶ浦湖上^{かすみがうらこじょう}ま
まつりが合体^{がったい}した「土浦キララま
まつり」が初^{はじ}めて行^{おこな}われました。

平成3年



だい かい
第1回かすみがうらマラソン

そうかい
爽快なスタート
ダッシュを決め
3マス進む

平成9年



かんせい
ウララビル完成

つちうらえきまえ ちく さいかいほつ つちうら
土浦駅前地区再開発^{つちうらえきまえ}により、土浦
駅前^{えきまえ}のランドマークでもあるウ
ララビル^{かんせい}が完成^{かんせい}しました。

平成7年



かみたかつかいつか
上高津貝塚
ふるさと歴史の広場^{ひろば}が完成^{かんせい}

た れきし
モン太と歴史の
お勉強
1回休み

平成3年



すいごうこうえん ふうしゃ かんせい
水郷公園の風車^{ふうしゃ}が完成^{かんせい}

市のシンボルのひとつである
オランダ型風車^{がたふうしゃ}ができました。

平成17年



だい かい
第1回
土浦カレーフェスティバル

平成15年



さいかいほつ
再開発ビル「さらさ荒川沖」完成

平成12年



つちうらぜんこくはなびきょうたいかい はじ
土浦全国花火競技大会^{つちうらぜんこく}で初
めて内閣総理大臣賞^{ないかくそうりだいじんしょう}を付与^ふ

平成15年



じょうそうがくいん こうしえんはつゆうしょう
常総学院^{じょうそうがくいん}が甲子園初優勝^{こうしえんはつゆうしょう}

平成17年



キララちゃんバス運転開始^{きんてんかいし}



INFORMATION

情報ひろば

日	日時・日程	持	持ち物
場	会場	料	料金・受講料
対	対象者	申	申込方法
講	講師	切	締め切り
内	内容	問	問い合わせ
定	定員	他	その他

土浦市役所 ☎826-1111
防災行政無線 0120-826113

マイシティつちうら
まちの話題やニュースをお届けします。土浦ケーブルテレビ デジタル11ch(111ch)【毎日9:00/12:00/16:00/20:00の各15分】

土浦市メールマガジン
行政、子育て、健康づくり、観光・イベントなどの情報をメールでお届けします。

登録はこちら▶



土浦地方家族会

「家族を支える会」

日 1月19日(土) 午後1時30分
～3時30分

場 二中地区公民館
対 精神に障害をもつ方とその家族

内 悩み相談、意見交換
問 土浦保健所(☎821・5516)

ペアレントトレーニング
二講座

日 2月5日(火) 午前10時15分
～11時15分

場 土浦市保健センター
対 市内在住で、3～6歳頃のお子さんを子育て中の方

定 20人(先着順)
申 電話で

☎ 1月7日(月)～2月4日(月)
問 こども福祉課(☎内線2280)

子ども郷土研究発表会

日 1月26日(土) 午前10時～正午(作品の展示は1月26日(土)から2月17日(日)まで)

場 上高津貝塚 考古資料館
問 上高津貝塚(☎826・7111)

男女共同参画セミナー・コーヒードキュメンテーション

日 2月3日(日) 午後1時30分
～午後3時30分

場 コーヒーハウスアモル(大岩田)
対 20～40歳代の独身者

講 滝 修司さん
内 おいしいコーヒーのいれ方を学びながら参加者同士で交流

定 16人(先着順)
持 エプロン、筆記用具
料 800円程度

申 電話で
問 市民活動課(☎827・1107)

障害者就職面接会

日 2月12日(火) 午後1時～3時30分

場 ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)
問 ハローワーク土浦(☎822・5124)

高額介護合算療養費の申請
手続についてのお知らせ

医療費と介護サービス費の自己負担額(食費・居住費などを除く)の合計額が年間の基準額を超えた場合、基準額を超えた分の額が支給されます。

例年、後期高齢者医療保険に加入し、支給対象となる方には1月中旬に案内を行っていますが、制度の改正により本年から3月中旬に変更となります。通知が届きましたら、申請を行ってください。

問 国保年金課(☎内線2316)

土浦商工会議所女性創業講座

日 1月12日(土)、26日(土) 午前10時～午後3時(全2回)

場 土浦商工会議所(中央二丁目)
対 本格的に起業を検討している、または起業に興味がある女性(男性の受講も可)

講 三宅哲之さん(フリーエージェンティンク代表取締役)

内 「起業に必要なもの」と、いろいろな起業スタイルを学ぶ「ほか

定 10人(先着順)
※申込方法など、詳しくはお問い合わせください。

問 土浦商工会議所(☎822・0391)

文化財防火デー防火訓練

日 1月21日(月) 午前10時から

場 上高津貝塚
内 通報訓練、バケツリレー、水消火器による消火訓練など

問 文化生涯学習課(☎内線5120)

書き損じハガキ・未使用切手などの寄付を募集します

日 1月25日(金)～2月1日(金)

場 収集場所／本庁舎1階、市立図書館、各地区公民館
問 土浦ユネスコ協会事務局(市民活動課内 ☎内線2031)

みんなで協働のまちづくり
シンポジウム

日 1月26日(土) 午後1時30分～4時(各団体紹介のポスト)

終活のススメ 在宅療養を
考える市民講演会

日 2月2日(土) 午後2時～午後3時30分

場 土浦協同病院(おおつ野四丁目)
講 清水 亨さん(せせらぎ在宅クリニック院長)

内 在宅療養とエンドオブライフ・ケアに関する講演会

問 高齢福祉課(☎内線2500)

市立博物館館長講座
「館長が語る発掘物語」

日 ①1月20日(日)、②2月17日(日) 午後2時～3時30分

内 ①「日本の前期古墳の調査」、②「大和の古墳の調査」

定 50人(先着順)
料 50円(資料代)

問 市立博物館(☎824・2928)

場 上高津貝塚 考古資料館
問 上高津貝塚(☎826・7111)

場 コーヒーハウスアモル(大岩田)

場 土浦商工会議所(中央二丁目)

場 土浦協同病院(おおつ野四丁目)

場 ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)

場 ハローワーク土浦(☎822・5124)

場 上高津貝塚 考古資料館

場 コーヒーハウスアモル(大岩田)

場 土浦商工会議所(中央二丁目)

場 土浦協同病院(おおつ野四丁目)

場 ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)

場 ハローワーク土浦(☎822・5124)



手をつなぐ子らの作品展

日 1月19日(土)～25日(金) 午前10時～午後6時(25日は午後3時まで)

場 市民ギャラリー

内 市内内中学校・義務教育学校特別支援学級、県立土浦特別支援学校児童生徒の作品を展示

問 菅谷小学校(☎831・8331)

社会福祉協議会からのお知らせ

子育て支援ボランティア養成講座

日 2月13日(水)、20日(水)、27日(水)、3月6日(水)、13日(水) 午前10時～午後4時(全5回)

対 受講後、市ファミリー・サポート・センターに登録して活動できる方

定 20人(定員を超えた場合は抽選)

期 2月5日(火)

ひとりで親家庭新入学児童お祝いの集い

日 3月9日(土) 午前10時～11時30分

対 平成31年度に小学校へ入学するひとり親家庭の児童とその保護者

内 入学祝い品(学用品)の贈

呈、アトラクション

期 1月15日(火)

◎ 共通

場 総合福祉会館(ウララ24階)

申 電話で

問 市社会福祉協議会(☎821・5995)

土浦市障害児(者)育成会 講演会

日 2月17日(日) 午後1時15分～3時(開場は午後0時30分から)

場 県南生涯学習センター

講 田中玲子さん(ソプラノ歌手) 内 講演「目が見えない」これがわたしの個性です。」

申 電話またはファクスで

期 1月31日(木)

問 同会事務局(市社会福祉協議会内 ☎821・5995 ☎824・4118)

霞ヶ浦医療センター公開市民講座

日 1月25日(金) 午後3時から

場 同センター(下高津二丁目)

講 田村雅美さん(認知症看護認定看護師)

内 「認知症の人を知る」私たちができるケアのヒント」

問 同センター(☎822・5050)

information

市政のお知らせ

市民会館の耐震補強および大規模改造工事を開始します



問 文化生涯学習課(☎内線5120)

市民会館は、昭和44年の竣工から49年が経過しており、老朽化が進んでいます。そのため、耐震補強を含む、施設の大規模な改修を行います。

工事期間中は、市民会館をご利用いただけなくなります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

※工事期間中の連絡先などについては、市民会館のホームページをご覧ください。

主な工事内容／耐震補強工事、天井脱落防止対策、トイレの改修、客席の交換、舞台設備の改修、エレベーターの設置など

今後の予定／

2019年1月14日～2020年3月15日…改修工事
2020年5月…リニューアルオープン

information

市政のお知らせ

平成31年度土浦市奨学生を募集します

問 教育総務課(☎内線5103)

応募資格／

平成31年3月に市立中学校または義務教育学校を卒業し、4月から県内の高等学校に進学を予定しており、次の要件を全て満たしている方

- 経済的理由により就学が困難と認められる方
- 引き続き1年以上市内に住所を有している方(扶養義務者またはこれに準ずる方を含む)
- 成績良好、品行方正であること
- 他の奨学金を受けていないこと

募集人数／16人

給付金額／月額7000円

応募方法／

応募には現在通学している中学校または義務教育学校の校長からの推薦が必要となります。事前に担任の先生へご相談ください。

応募締切／2月6日(水)

新春

博物館長が語る

穴塚

般若寺の梵鐘



土浦市立博物館長
上高津貝塚ふるさと歴史の広場館長
茨城大学名誉教授

茂木

雅博

市民の皆さま、新年おめでとうございます。

私が月に1回、市立博物館で開催しております館長講座が昨年12月めでたく1000回目を迎えることができました。これもひとえに市民の皆さまのご支援の賜物でございます。毎月楽しみに聞きに来てくださる皆さまに心から感謝しております。

さて皆さま、本市には国宝「短刀 銘 筑州住行弘」を始めとし、国指定の重要文化財が合計11点ございます。今回はその中から常陸三古鐘として有名な般若寺の梵鐘を紹介したいと思います。常陸三古鐘とは茨城県内にある鎌倉時代の優れた銅鐘を指すもので、土浦市には3基中2基が所在します。土浦市穴塚の般若寺・大手町の等覺寺、潮来市の長勝寺がそれで、すべて工芸品として国の重要文化財に指定されています。

私の古い友人に奈良市東大寺の戒壇院前で見つけた日本最大の梵鐘铸造所跡を発掘調査した研究者がおります。彼はその後梵鐘の铸造法を研究し、古代から中世にかけての梵鐘に関していくつかの論文を発表しています。特に近年は、中世律宗の忍性和尚が大和から筑波山麓に止住し、鎌倉の極楽寺に移る以前にこの地で布教を行った事実と、中世律宗が土浦周辺に残した様々な文化財に注目して、何度か土浦市を訪れて調査をしました。般若寺の梵鐘は、結界石や石造五輪塔などととも、律宗が鎌倉時代に栄えた



▲般若寺境内



▲般若寺梵鐘(国指定重要文化財)

頃の文化的な遺産であり、その梵鐘調査の成果が昨年暮れに公表されたのでご紹介します。

寺伝によると般若寺は、天曆元年(947年)平将門の孫娘如蔵尼が尼寺を穴塚の台地上に創建したのを始めとし、平安時代の終わり頃に現在地に遷ったそうです。鎌倉時代になると五重塔を有する大寺院となり、その地域は旧穴塚小学校を含む広範囲におよんでいたと推定されています。戦国時代には兵火にかかりましたが、幸い梵鐘は今日まで残り、重要な歴史的事実を伝えてくれています。

梵鐘は総高115・2センチメートル、口径62センチメートルを測り、铸造年代などを記した銘文が刻まれています。それによると建治元年(1275年)8月27日とあり、大和西大寺の叡尊の弟子である源海が大勧進となり、北条時宗が元寇による国難を救うために寄進したと寺伝は伝えていきます。

鑄物師は丹治久友と千門重延の2名が連名で刻まれています。千門は地元の鑄物師と推定されます。丹治久友は河内(大阪府)

の鑄物師で、般若寺を含めて4つの梵鐘の製作が知られています。現存するのは穴塚般若寺のほか、埼玉県川越市の養寿院(文應元年・1260年)、奈良県東大寺真言院(文永元年・1264年)があり、銘文の記録のみが残る奈良県吉野金峯山蔵王堂(文永元年・1264年)の鐘銘には「鎌倉新大仏寺鑄物師丹治久友」と記されています。この銘文によって、鎌倉大仏の鑄造に加わった丹治久友はその後、川越養寿院の梵鐘を鑄造して、いったん大和に帰国して東大寺と吉野金峯山の梵鐘を製作の後、般若寺の梵鐘を鑄造するために再び土浦にやって来たものと思われる。

この梵鐘は現在、般若寺境内の鐘楼に懸けられています。その銘文は大変鮮明に彫られており判読可能ですので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。さらに、この寺の境内には、県指定文化財の結界石や石造五輪塔など、鎌倉時代の文化財を見学することもできます。拝観を希望される方は、必ず事前に連絡をして了解を得てから、文化財に損傷を与えないように十分注意して拝観して頂きたいと思います。

最後になりますが、今年も市立博物館と上高津貝塚では、様々な企画や展示を行います。両館とも、皆さまのご来館をお待ちしております。

新春文芸

新春に詠む短歌

春の花想わせるかな幾色のたすきは燃ゆる箱根駅伝

毎年正月恒例の箱根駅伝、年の始めの新たなドラマの展開は多くの希望をもたらすものです。 色川 昌志

樹々の上ひいよひいよと子を育てひよは群れなし春野を飛び

ひよ鳥は公園などの樹に群がって、その声は幼稚園児達の遊び声に似てにぎやかだが、飛び立ってしまつと寂しいものである。 宇留野むつみ

小貝川の土手に登りて新春の青一色の筑波山見上ぐ

小貝川の近くの小さな町に生まれ茨城県をほとんど出てない私に、筑波山は守護神のように。青々と冴える筑波山。 海老沢幸子

新米を食べさせたくて逸速く夫は荷造る子等に送ると

子供等も五十歳代。それでも夫は、子供等に食べさせようと痛む腰を自ら折りながら、米や野菜の荷造りをしている。 海老原鮎子

輪飾りを貰ひはなやぐ車椅子平成最後の初日耀ふ

莉妻が車椅子になって四半世紀、寝たきり防止のプール通いに車椅子は欠かせない。有り難いことだ。 栗田 幸一

病つつ後期高齢に感謝して夫と迎える新春の喜び

難病「溶血性貧血」となり十年余。一昨年は百七歳の義母を送り、今は、高齢の夫と二人元氣に家で正月を迎えられて幸せである。 腰山 佑子

筑波嶺の山ふところの宵明り点れば温き母の思い出

茨城県に住んで半世紀以上、私達を見守るように立つ筑波山は、母のようにも父のようにも、古里、友達のように見えます。 佐藤 哲子

大空へむかいて鶴の羽交きは未来の平和祈る心地す

初春に神秘的な鶴の姿を見ていると世界の平和を祈る心地になります。 櫻井 雅江

今朝の春霞ヶ浦に白鳥と枯葉一枚静かなるかな

霞ヶ浦によく似合う白鳥と役目を終えた一枚の枯葉が静かに新年を迎えた。宇宙に行く時代、今年の地球は静かであつてほしい。 高井 昭

清らなる谷の瀬音も新玉の年立ち替るふるさとの峰

東京に住み、望郷の念にかられ故郷に戻つて半世紀、平成も移り、変らず雄々と立つ、宝篋、小野に竜ヶ峰の山々に春を奏ぐ。 荒井 洋子

万歳のかたち眠るみどり児の待ち受け画面いく度も見る

ケイタイの待ち受け画面に三か月目の孫がいる。日に幾度も見ているが確かな温もりを貰っている。 小松崎みずえ

喜寿のわれピンクの自転車新調す今しばらくを元氣にあらんと

修理しつつ乗っていた自転車を思い切って買い換えた。今年も元氣も新しくなる。新しい時代も見てみたい。 平澤 良子

春の日のまだらに揺れる山裾に水子地蔵は身を寄せあえり

水子には生まれて日のたない赤子もいるし、この世に生を受けられぬ子もいるが、水子地蔵達の身を寄せ合う姿に心が癒される。 井上 寛江

桜川の岸辺背にして細く立つ鷺に真直ぐ初日の届く

桜川の向う岸に立つ一羽の白鷺に初日が射し真直ぐ帯のように光が届いている光景に出会ひました。 瀬古澤和子

孫といふ十八年をほほえみて平成過ぐる鐘の音ひびき

さまざまな出来事があった平成も後わずか。除夜の鐘は、ここに響いてくる。歳の差の違つ孫たちと楽しくくらせたことも。 井上 秀子

古えの鎌倉街道に祀られし小さな碑に花の供はる

天川団地近くに残る街道は、下草が刈られ、杉の巨木が並ぶ、辻に立つ小さい碑に、花が手向けられ先人達の足跡が偲ばれる。 大越 里子

新春に詠む俳句

初明り名入りの袋祝い箸

正月の準備の中で、一番最後に父が家族各々の名前を袋に書き込む。その時の父の家族に対する想いを、私は忘れない。

一言を添えて投函年明け

また一年が過ぎ去ってゆく。便利な時代だが、人とのやりとりを楽しみながらのペンを走らせる。新しい年の幸せを願いつつ。

メモ日記確かめている去年今年

歳月の過ぎゆく疾さ。今年は亥年。猪突猛進ではないゆつたりとした、歳に見合った歩みでいきたい。行動を間違えないように。

しづかなる水に従ひ年迎ふ

今年新しい元号が始まる特別な新年。神聖な気持ちで迎えた。期待で心がふくらむ。穏やかにして前向きな姿勢を持ち続けよう。

初詣母に合わせる歩幅かな

恒例の元朝参りは成田山。家族で出かける。参拝客で混み合う境内に、母を気遣いながら本堂へ。皆の健康と平和を祈願する。

凧高く空に消え去り泣く子おり

凧も程良く晴れた日に、幼い息子と凧揚げをした。途中、糸が切れて凧ははずこへやう。泣いている息子。遠い思い出である。

即位なるこの年頭や浦明かり

時代変遷の空気を再び味わう事が出来て幸せである。皇室の安泰を祈り、穏やかな自然の中で暮らせる事を念じてやまない。

鳩百羽わたしも鳩に初詣

塩竈神社には鳩が沢山いる。首を前後に振り振り歩く仕草は、何とも愛嬌があり、私もその中に。今年も平和でありますように。

加藤 節子

小池 陽子

関沢 美江

高田 智子

沼尻 芳子

福嶋 マスイ

古橋 初子

増田 洋子

新春に詠む川柳

一億の民に平和の年賀状

今や〇〇ファーストが時流。これが火種で戦争も現実味。解決策は肥った我欲を削り譲り合う事。出来た隙間に平和の種を蒔こう。

心から心に届く年賀状

メールや電話よりやはり手書きの年賀状は嬉しいものです。今年も何か良い事が有る様な気持ちにさせてくれます。

年賀状辞退の時期か迷い筆

夫婦揃って八十路に入り年賀状を辞退しどきを模索する歳になる。続けようか止めようか正月が来ると堂々巡りを繰り返す。

猪のパワー肴に屠蘇を酌む

年々衰えていく体力、今年は猪のパワーを借りて乗り切って行きたいと思っています。

初詣で玉砂利音で身がしまる

明治神宮の近くに居た頃、参道の玉砂利を踏み締めながら、身の引きしまる思いで、新年を迎えたものです。

姑も肩が凝ってるお正月

普段夫婦でのんびり暮らしているのがお正月は大忙し。お嫁さんも連れてくる様になるとなおさら。亡き姑に感謝しています。

三が日どどん軽くなる財布

孫を連れて娘が帰省する。年々大きくなってゆく孫に、それなりのお年玉を用意する。嬉しいがすっかり財布も軽くなって行く。

受験生無理な願いも絵馬に盛る

はみ出すほどの願いが書いてある絵馬はだいたひ受験生である。有名校の名がずらりと並び。切実さが痛いほど分かる。

富永 柳道

富田 こうし

臼井 桃代

太田 鳴子

京極 いく

兵藤 猫目石

内野 泰守

谷藤 美智子

